



平成25年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年8月1日

上場会社名 株式会社オークファン 上場取引所 東
 コード番号 3674 URL http://aucfan.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 武永 修一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 濱田 淳二 (TEL) 03(6809)0951
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第3四半期の業績（平成24年10月1日～平成25年6月30日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第3四半期	547	—	233	—	219	—	140	—
24年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第3四半期	93.34	79.67
24年9月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 平成24年9月期第3四半期につきましては、四半期財務諸表を作成していないため、平成24年9月期第3四半期の数値及び平成25年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 当社は平成25年4月25日に東京証券取引所マザーズに上場したため、平成25年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から平成25年9月期第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
 3. 当社は、平成25年1月15日付で普通株式1株につき500株の株式分割を行っておりますが、当該株式分割が当事業年度の期首に行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第3四半期	1,480	1,381	93.2
24年9月期	640	470	73.0

(参考) 自己資本 25年9月期第3四半期 1,379百万円 24年9月期 467百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年9月期	—	0.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

平成25年9月期の業績予想（平成24年10月1日～平成25年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	716	15.6	299	48.5	289	44.0	193	92.0	122.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

当社は、平成25年1月15日付で普通株式1株につき500株の株式分割を行っておりますが、当該株式分割が当事業年度の期首に行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期会計期間より減価償却の方法を変更しており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年9月期3Q	1,811,500株	24年9月期	2,738株
② 期末自己株式数	25年9月期3Q	－株	24年9月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年9月期3Q	1,509,985株	24年9月期3Q	－株

- (注) 1. 平成25年1月15日付で普通株式1株につき500株の株式分割を行っておりますが、当該株式分割が当事業年度の期首に行われたと仮定して、「期末発行済株式数」と「期中平均株式数」を算定しております。
2. 当社は第3四半期の業績開示を平成25年9月期より行っているため、平成24年9月期第3四半期の期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(5) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における我が国の経済状況は、昨年12月の総選挙の結果、政権交代が実現し、安倍政権の発足による通称「アベノミクス」と呼ばれる経済政策への期待から急激な円高の修正及び株価の上昇傾向が現れ、デフレ脱却と景気回復への期待感が高まっております。しかしながら、欧州債務問題や中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化など、景気下押しリスクも存在し、また今後においては各種増税や保険料負担増加等の動向により、消費の先行きにも不透明感が残る状況が続いております。

当社を取り巻くインターネット関連市場につきましては、スマートフォンやタブレット端末の需要が好調に推移していることに後押しされ、インターネット利用人口及び接触時間は継続的に増加しております。平成25年3月末時点の移動系超高速ブロードバンドサービスの契約数は2,567.4万回線（前期比40.4%増）と増加が続いており、中でも、3.9世代携帯電話アクセスサービスの契約数は2,036.2万回線（前期比49.4%増）、無線ブロードバンドサービスであるWiMAXに代表されるBWA（広帯域移動無線アクセスシステム）の契約数は531.3万回線（前期比14.0%増）と大幅に増加しております（出所：総務省「電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データの公表（平成24年度第4四半期（3月末））」）。

このような事業環境のもと、当社は主力のインターネットメディア事業の拡大に向け、その中核を成す「オークファン」において、ユーザー数の拡大、収益基盤の確立・強化に取り組んでまいりました。

ユーザー数の拡大に向けては、サイトリニューアルやSEO対策、プロモーション施策などユーザー数増加施策に注力しました。これによりユーザー数は順調に増加しております。

また、収益基盤の確立・強化に向けては、商品検索機能の強化などのユーザビリティ強化施策及びEマーケットプレイス各社とのアライアンス強化に努めてまいりました。これにより平成25年9月期第3四半期においてはネット広告収入が順調に増加しており、収益基盤の強化に貢献しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は547,674千円、営業利益は233,913千円、経常利益は219,489千円、四半期純利益は140,936千円となりました。

なお、平成25年4月25日付で、東京証券取引所マザーズ市場へ上場いたしました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における資産、負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

① 資産

流動資産は、前事業年度末に比べて、761,423千円増加し、1,196,561千円となりました。これは主として、現金及び預金が741,041千円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて、78,345千円増加し、283,845千円となりました。これは主として、有形固定資産が26,528千円、ソフトウェアが59,133千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて、839,769千円増加し、1,480,407千円となりました。

② 負債

負債は、前事業年度末に比べて、71,081千円減少し、98,795千円となりました。これは主として未払金が47,205千円減少したことによるものであります。

③ 純資産

純資産合計は、前事業年度末に比べて、910,851千円増加し、1,381,612千円となりました。これは主として、新規上場による公募増資及び第三者割当による新株発行により資本金が385,406千円、資本剰余金が385,276千円増加したこと、また、四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の額が140,936千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年5月7日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。今後業績予想の数字に影響を及ぼす事態が生じた場合は、すみやかに開示を行います。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	338,683	1,079,724
売掛金	82,015	100,546
貯蔵品	1,092	1,433
その他	14,562	16,348
貸倒引当金	△1,216	△1,492
流動資産合計	435,137	1,196,561
固定資産		
有形固定資産	22,575	49,103
無形固定資産		
ソフトウェア	112,393	171,527
のれん	531	366
その他	23,012	17,749
無形固定資産合計	135,937	189,643
投資その他の資産	46,987	45,099
固定資産合計	205,500	283,845
資産合計	640,637	1,480,407
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,835	7,188
未払金	63,798	16,593
未払法人税等	69,331	55,668
役員賞与引当金	13,000	—
その他	17,910	19,345
流動負債合計	169,876	98,795
負債合計	169,876	98,795
純資産の部		
株主資本		
資本金	176,119	561,526
資本剰余金	180,012	565,289
利益剰余金	111,671	252,607
株主資本合計	467,803	1,379,423
新株予約権	2,957	2,188
純資産合計	470,761	1,381,612
負債純資産合計	640,637	1,480,407

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	547,674
売上原価	71,744
売上総利益	475,930
販売費及び一般管理費	242,016
営業利益	233,913
営業外収益	
為替差益	698
受取利息	42
その他	159
営業外収益合計	899
営業外費用	
株式公開費用	15,323
営業外費用合計	15,323
経常利益	219,489
特別利益	
投資有価証券売却益	26,400
新株予約権戻入益	71
特別利益合計	26,471
特別損失	
本社移転費用	608
特別損失合計	608
税引前四半期純利益	245,352
法人税、住民税及び事業税	101,806
法人税等調整額	2,609
法人税等合計	104,416
四半期純利益	140,936

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成25年4月25日付で東京証券取引所マザーズに上場し、公募増資による払込を受け、新株式242,000株の発行を行いました。

また、平成25年5月27日を払込期日として、SMB C日興証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当による新株式48,000株の発行を行いました。

その結果、資本金及び資本剰余金がそれぞれ346,840千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が561,526千円、資本剰余金が565,289千円となっております。

(5) 重要な後発事象

(株式分割)

当社は、平成25年7月17日開催の取締役会において、以下のとおり、株式分割することを決議いたしました。

1. 株式分割の目的

当社株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の割合

平成25年9月30日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有株式数を、普通株式1株につき5株の割合をもって分割いたします。

3. 株式分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数 1,811,500株

株式分割により増加する株式数 7,246,000株

株式分割後の発行済株式総数 9,057,500株

株式分割後の発行可能株式総数 25,000,000株

(注) 取締役会決議の日(平成25年7月17日)から株式分割の基準日までの間に新株予約権の行使により発行済株式総数が増加する可能性があります。

4. 株式分割の時期

効力発生日 平成25年10月1日

5. 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が当事業年度の期首に行われたものと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	当第3四半期累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	18円67銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	15円93銭

6. 新株予約権行使価額の調整

株式分割の実施に伴い、当社発行の新株予約権の1株当たりの行使価額を平成25年10月1日以降、以下のとおり調整いたします。

	調整前行使価額	調整後行使価額
第4回新株予約権	400円	80円
第6回新株予約権	500円	100円
第7回新株予約権	1,560円	312円
第8回新株予約権	1,560円	312円
第9回新株予約権	1,560円	312円